

検索ヘッドクラスタメンバーがKVストアでスタックしています。回復しています。

適用性

Splunk Enterpriseです。

説明

KVストアのレプリケーションが初期同期または復元の状態でスタックしました。

影響を受けるインスタンスの\$SPLUNK_HOME/var/log/splunk/splunkd.logで見つかったエラー。

```
ERROR KVStoreBulletinBoardManager - Local KV Store has replication issues. See introspec
ERROR KVStoreBulletinBoardManager - Local KV Store has replication issues. See introspec
The member is too stale to use <cluster member host name> as a sync source.
```

調査

識別方法：

1. KVストアの一部の検索ヘッドが復旧状態でスタックしています。
2. SplunkドキュメントのKBストアを再同期しても、問題は解決しませんでした。
 - CLIコマンド **splunk show shcluster-status** を使用して、現在どのノードが検索ヘッドクラスタキャプテンであるかを判断します。
 - 検索ヘッドクラスタキャプテンノードのシェルにログインします。
 - コマンド **splunk resync kvstore [-source sourceid]** を実行します。-sourceは、検索ヘッドクラスタキャプテン以外のメンバーをソースとして使用する必要がある場合のオプションパラメータです。Sourceidは、同期に使用される検索ヘッドメンバーのGUIDを参照します。
 - 管理者ログインクレデンシャルを入力します。
 - 確認メッセージがコマンドラインに表示されるまで待ちます。
 - クラスタが再同期されていることを確認するには、**splunk show kvstore-status** コマンドを使用します。

解決方法

修正方法：

1. SHキャプテンから「`splunk resync kvstore`」を実行すると、KVストアキャプテンは準備完了として起動します。
2. その他のノード（リカバリステータスのままになっているノード）で、Splunkプロセスを停止し、「`splunk clean kvstore —local`」を実行してからSplunkを再起動します。

完了するまで、ノードはKVストアの「初期同期」で起動します。

`$SPLUNK_HOME/var/lib/splunk/kvstore` のサイズが拡大しているkvstoreファイルが転送されていることを確認して、「初期同期」をモニタします。

サンプルコマンド：

```
du -sh $SPLUNK_HOME/var/lib/splunk/kvstore
```

その後、彼らはキャプテン以外のKVストアメンバーと準備状態になります。

上記の解決策で問題が解決しない場合は、次の手順に従います。

1. クラスタからメンバーを削除し、削除する必要があるインスタンスから次のコマンドを実行します。

```
./splunk remove shcluster-member
```

別のメンバからsplunk removeコマンドを実行するには、次のバージョンのコマンドを使用します。

```
./splunk remove shcluster-member -mgmt_uri <URI>:<management_port>
```

2. Splunkの停止

3. このインスタンスがKVストアから削除されたことを確認するには、残りのクラスターメンバーに対して次のコマンドを実行します。

```
./splunk show kvstore-status
```

4. Splunkを再起動する前に、次のコマンドを実行します。

```
./splunk clean all
```

注：clean allコマンドを実行すると、ローカル管理者アカウントが削除されます。passwdファイルを\$SPLUNK_HOME/etcから移動または削除した後で、user-seed.confというファイルを使用して管理者ユーザを再設定できます。詳細については、スペックファイルを参照：[User-seed.conf](#)

5. Splunkを起動します。

6. インスタンスをクラスタに追加します。

新しいメンバ自体でSplunkのaddコマンドを実行するときは、次のバージョンのコマンドを使用します。

```
./splunk add shcluster-member -current_member_uri <URI>:<management_port>
```

現在のクラスタメンバからSplunk addコマンドを実行する場合は、次のバージョンのコマンドを使用します。

```
./splunk add shcluster-member -new_member_uri <URI>:<management_port>
```

7. インスタンスが同期プロセスを完了するまで待機します。

関連リンク

Splunkドキュメント

[KVストアの再同期](#)

[クラスタメンバーの削除](#)

[クラスタにメンバを追加します](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。